

玖珠地区人権教育・啓発推進協議会

# 人権講演会を開催

六月四日玖珠地区人権教育・啓発推進協議会は、玖珠自治会館において平成二十年年度総会を開催し、総会終了後人権講演会を開催しました。

## ～みんなで築こう人権文化～ 高齢者をめぐる人権

講師に玖珠町人権同和啓発センター社会教育指導員の石井隆稔氏を迎え、みんなで築こう人権文化・高齢者をめぐる人権と題して講演をいただきました。

講師に玖珠町人権同和啓発センター社会教育指導員の石井隆稔氏を迎え、みんなで築こう人権文化・高齢者をめぐる人権と題して講演をいただきました。講演では、私たちが何気なく使っている言葉や仕草がお年寄りの人権を侵害していることがないかを考え、相手の目線で気を配り、行動することが、真の意味での平等社会の実現につながる高年齢者も多く、長生きすることが「長寿」となるには、「生きがいや高齢者を取り巻く人々との人間関係、バイアフリーなどの安全に生活できる環境づくり」が必要で、講演では、私たちが何気なく使っている言葉や仕草がお年寄りの人権を侵害していることがないかを考え、相手の目線で気を配り、行動することが、真の意味での平等社会の実現につながる高年齢者も多く、長生きすることが「長寿」となるには、「生きがいや高齢者を取り巻く人々との人間関係、バイアフリーなどの安全に生活できる環境づくり」が必要で、

〇年には四人に一人が六十五歳以上の高齢者となる見込みです。こうした中で、将来の生活や健康に不安を抱いてい



講師の石井隆稔氏

### 木の皿 (グリーン童話)

人権講演会資料より

昔、夫婦と老人と4歳になる子の4人が一緒に暮らしていました。

老人は、年をとって食べ物をこぼし、汚らしく汚すようになってきました。

そこで、夫婦は老人をテーブルではなく、物陰で食べさせることにしました。老人は涙をため、ため息をつきましたが、何も言いませんでした。

老人はますます年をとり、手がふるえて不自由になりました。そしてある日、陶器の食器を落として壊してしまいました。

夫婦はこれからも壊されてはたまらないと、老人には粗末な木の皿をあてがいました。

4歳の子がしばらくして、木片を刻んでいるのを夫婦が見かけました。

「坊や、何をしているの？」  
「木でお皿を作っているんだよ」  
「そんなお皿を作ってどうするの？」

「うん、僕が大きくなったころ、パパもママも年をとるだろう。その頃にはこのお皿ができあがるから、これで食べさせてあげるの」

夫婦はびっくりして、老人を元どおりテーブルにつかせ、陶器の食器で食事をさせることにしました。



がると結ばれました。玖珠地区人権教育・啓発推進協議会（玖珠地区人権協）は、玖珠地区の町議会議員、自治委員、婦人会、老人会、民生児童委員などの各種団体と、学校PTAなど約百三十名の会員により構成され、研修会や講演会を通じて人権啓発活動に取り組んでいます。



障がい是不便だが、不幸ではない。環境こそ整えば僕は障がい者ではなくなる。障がい者を生み出しているのは、環境の不備だ。

乙武 洋匡